

各単組新執行部 決定!

- 高松市学校職員協議会
 - 会長 那須 将弘 (屋島西小)
 - 事務局長 木下 貴道 (新番丁小)
- 丸亀市教職員協議会
 - 会長 相原順之介 (富熊小)
 - 事務局長 富家聡一郎 (城坤小)
- 坂出市教職員協議会
 - 会長 谷口 翔平 (西庄小)
 - 事務局長 住谷 駿介 (松山小)
- 仲多度善通寺市教職員協議会
 - 会長 西村 博文 (満濃南小)
 - 事務局長 河本 彬 (象郷小)
- 三豊観音寺教職員協議会
 - 会長 小野 達朗 (観音寺小)
 - 事務局長 土山 由美 (豊中中)
- 小豆郡教職員協議会
 - 会長 真砂 俊和 (星城小)
 - 事務局長 武部 陽佑 (土庄小)
- 大川教職員協議会
 - 会長 平木 義章 (津田小)
 - 事務局長 斉藤 諒太 (造田小)
- 綾歌郡教職員協議会
 - 会長 西村 拓弥 (昭和小)
 - 事務局長 丸尾 和己 (宇多津小)
- 木田郡教職員協議会
 - 会長 香西 尚治 (氷上小)
 - 事務局長 上村 勇介 (氷上小)
- 直島町教職員協議会
 - 今年度、直島に会員はいません。

第三次中央要請行動

5月22日(月)から23日(火)の2日間、第三次中央要請行動が東京にて行われた。香教連からは、高木委員長と弘瀬副委員長(全日教連専従)が参加した。およそ70名の衆議院議員と参議院議員の方々に要望書を提出した。

要望内容は、

- 一 定数改善・人材配置
 - 二 教職員の処遇改善
 - 三 部活動地域移行
 - 四 教育DXの推進
 - 五 教育と福祉の接続
 - 六 誰一人取り残さない学び
 - 七 格差のない教育
 - 八 教育関連法整備
- の8項目についてである。

どの議員の方々も本当に熱心に耳を傾けてくださり、「教育は日本の将来の一番の重要項目だと考えている。」と述べられた。こういった要望の実現は、本当に時間がかかる。地道に要望を続けていくことが回りの道のように感じてもいいかもしれないが、実は近道かもしれない。また、先の自民党の特命委員会から出された提言内容も多くの議員との懇談の中で非常に話題になった。「教職調整額10%・諸手当の新設と拡充」を岸田総理の骨太の方針案の中に組み込んでいけるように次の行動を起こさなくてはならないと改めて認識した。



各地で定期大会が開催!

坂出・小豆・丸亀・木田・高松



第4回採用試験対策部研修会

5月27日(土)初夏を感じさせる暑さの中、第4回採用試験対策部研修会が香川県教育会館2階会議室にて開催された。第4回は、香川大学准教授川東芳文先生を講師に迎え、総合教職教養について講義していただいた。

教育法規の問題対策を中心に、これだけはチェックしておきたい項目をわかりやすくまとめたプリントを用意していただき、熱心な受講内容に、参加した講師の先生方もしばしば引き込まれながらの1時間であった。

参加したAさんは、「勉強する範囲が広くて、どうしようかと思っていたら、こうした短い時間でもなんとか頑張ってみようという気が出てきた。」と語ってくれた。

第5回採用試験対策部研修会のお知らせ

日時 令和5年6月24日(土)
9時から12時

場所 香川県教育会館 2階会議室他

内容 集団面接対策 講義と演習

申込み 評議員宛のお知らせプリント参照

香教連会員の皆様の声を届けてください!

- 学校での困りごと
- こんな企画してほしい
- 香教連新聞の意見・感想
- 制度や法律についての質問

何でもかまいません。

☆秋に企画している日帰り旅行ツアーの行き先案も募集しています。

左下のQRコードを読み取って必要事項を記入して送信してください。



5月 業務抄 幼児教育部総会

5月26日(金)19:00より、教育会館3階会議室において令和5年度幼児教育部の総会が開催された。幼児教育部新部長に八重 彩先生が就任し、今年度の行事予定や新役員の紹介が行われた。その後、意見交換があり、高松市教委への要望や新しい研修内容についても多くの意見が寄せられた。

11日 日本教文研 教問審 WEB 会議
12日 高松市学校職員協議会 定期大会
丸亀市教職員協議会 定期大会
坂出市教職員協議会 定期大会
小豆郡教職員協議会 定期大会
木田郡教職員協議会 定期大会
14日 全日教連専門部会
(幼児教育部 瀬戸美奈子教諭)
(養護教諭部 土山由美養教諭)
15日 全日教連 中央要請行動 文科省
21日 全日教連 評議委員会
22-23日 全日教連 中央要請行動 (国会議員)
26日 幼児教育部会 定期総会
27日 第4回採用試験対策部研修会
第1回中堅教員研修会

中堅教員研修会案内

第2回中堅教員研修会を開催いたします。管理職登用試験に向けて、一緒に研修を深めていきませんか?さらなる教師力のアップをめざしましょう!

日程 6月24日(土)
時間 18時~20時
会場 香川県教育会館 6階 小会議室
持ち物 教育小六法 香川県教育関係 職員事務必携

右のQRコードを読み込んで申し込んでください。



特別でない特別支援教育を ⑫ がまぐち先生

今回も「不親切教師のスヌメ」(松尾英明著)について前回の続きを。

子どもがマルつけを自分でやると「子どもがすぐに答えを見せようからだめだ」という反論が出るが「分からない時は手本を見て学ぶ」というのは学びの基本である。

また、自分でマルつけをすると、自分の書いたものに対し、結果責任が生じる。少なくとも「自分で読めない字」は少なくする。このセルフチェックができないという力は、一学生んでいく上でかなり重要である。

ただし、前提として必要な条件は、これを教師が授業できちんと教えていることである。実施からマルつけまで含めて、全て投げっぱなしにして自分で自力解決では力が付かないドリルに自分でマルつけをするのも、授業中に指導してあげてこそである。

きめ細やかで個に寄り添う丁寧な授業。そう聞けば、教師でなくとも多くの人が「それはいい授業だ」と思うのではないだろうか。

実は、この丁寧で親切でサービスマン満点の授業が、本質的な学力低下をまねいている可能性がある。

「本質的な学力低下」と書いた理由は、丁寧で親切でサービスマン満点の授業をすることで、一時的には学力が向上しているように見えるからである。例えば「やる気が出た」ように見えるし、その単元の学習直後に実施したワークテストや小テストの点数も上がる。やる気が出たようにみえたのも、こちらがサービスマン満点で支えている間だけのことである。ところが、次はどうか?これを続けていくことで、「さて、次はどうやって楽しませてくれるの?」という受け身の姿勢が子どもたちの基本になる。

さらに、小テストやワークテストの点数向上も、一時的な効果しかなく、年度末の学力テストのようなまとまった問題になると、一気にできなくなるという事態が珍しくない。

個別に丁寧に寄り添って噛んで含めるように教えたために、自分の頭で考えずにできている。できるようなった際も、実はよくはわかっていない。悲しいかな自分の頭を絞って考えた結果ではないためである。